

白杵市 施策評価シート

(令和6年度)

評価 担当課	課名 地域力創生課
-----------	--------------

コード	II-6-11	施策名	「うすき暮らし」の推進		
まちづくりの 目標	地域の輪で心がよいかい、市民が集うまち(地域の絆)		施策の方針	白杵に魅かれ暮らす人を増やす	
5年後の めざす姿	人口減少と少子高齢化が進み、若年層を中心に中大都市部への人口流出が多い状況の中、白杵市を持続可能で活力あるまちとするためには流入人口の増加、定住人口の増加を図る必要があります。その実現のため白杵の魅力や白杵での暮らしがイメージできる情報発信、定住促進に欠かれない生活環境の充実や移住者への移住支援、支援体制の充実を図り、移住・定住を促進します。				
施策の課題	人口減少及び少子高齢化の深刻化により、著しく地域の衰退が進んでいます。暮らしやすい地域づくりを促し移住定住人口の増加を図るとともに、白杵と関わりを持つ人口を増やすため、「白杵に行ってみよう」「白杵に住んでみたい」と思われるようなまちの魅力向上と支援事業、効果的なPRが必要と考えます。				

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
移住者数【累計】		移住相談、移住者居住支援事業 利用実績で把握した移住者数	目標	人	1,311	1,551	1,801	2,061	2,331	
			実績	1,116	1,347	1,573	1,784	2,030	2,212	
			達成率	%	102.8%	101.4%	99.1%	98.5%	94.9%	
市内の企業や事業所に雇用された移住者数(年間)		移住者のうち、市内の企業や事業所に雇用された移住者数(市内での起業も含む)	目標	人	33	35	37	39	41	
			実績	29	19	21	20	19	8	
			達成率	%	57.6%	60.0%	54.1%	48.7%	19.5%	
空き家バンク制度活用による成約件数【累計】		空き家バンク事業成約実績件数	目標	件	165	200	235	270	305	
			実績	126	172	221	263	301	336	
			達成率	%	104.2%	110.5%	111.9%	111.5%	110.2%	
白杵の体験機会を利用した移住者数(年間)		「移住希望者体験モニターツアー」及び「おためしハウス」を利用した移住者数	目標	人	10	20	30	40	50	
			実績	5	5	3	10	11	3	
			達成率	%	50.0%	15.0%	33.3%	27.5%	6.0%	
白杵とつながり隊登録数【累計】		市外に住む白杵市出身者や白杵に縁のある人による白杵市を応援する会員(白杵つながりネットワーク会員)登録数	目標	人	146	176	206	236	266	
			実績	199	288	333	361	367	381	
			達成率	%	179.3%	189.2%	175.2%	155.5%	143.2%	
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	移住者数は毎年200名程度で推移しており、一定の支援の成果が出ていますが、伸び悩みを感じ、新たな施策の展開が必要です。空き家バンク制度及び本補助金の充実により成約件数は順調に増加、目標値にも達しており、居住環境支援の成果が出ています。多くの方が白杵とつながり隊に登録し、計画値を大きく上回っていますが、機能性を高めることが必要と思われる。しごとサービス事業については、移住者のみならず市内定住者に対しても積極的に雇用場の提供及びあっせんを進めます。引き続き、子育て世帯を対象とした移住者モニターツアーやおためしハウスの利用促進を図ります。							

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	浸透度
見直し領域	2.53	2.10	
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域			
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	向上領域	見直し領域	見直し領域

満足度

2.30

2.20

2.10

2.00

1.90

1.80

1.70

2.3 2.4 2.5 2.6 2.7 必要度

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R5年度実績	R6年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1 移住定住促進事業	移住ガイドブックの作成 移住相談・サポート (移住・定住サポーター制度) 都市部での相談会・フェア出展 オンライン移住説明会 モニターツアー開催 しごと紹介サービス おためしハウス運営 定住支援員の配置	地域力創生課	6,675	6,822	有	概ね順調	強化	貢献度大	○
2 地域おこし協力隊	都市部からの人材の受入れ ◆業務内容(一般隊員) ①移住支援と定住促進 ②町なか泊と交流の推進 ③文化芸術	地域力創生課	3,614	2,184	有	概ね順調	強化	貢献度大	
3 空き家活用事業補助金	空き家バンクに登録された物件の成約時の改修等の補助金	地域力創生課	15,133	7,486	有	概ね順調	向上	貢献度大	○
4 定住促進事業補助金	移住者に対する移住応援給付金・引越費用等の補助金	地域力創生課	69,101	62,167	有	順調	向上	貢献度大	
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計			94,523	78,659	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する ○ 強化… 現状より強化を図る
○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る ○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所屬長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
見直し	移住定住施策を開始して10年が経過し、2,200人を超す方々に移り住んでいただいています。改めて、仕事と住まいの充実に向けて総合的に移住定住施策を展開し、人口減少・少子高齢化の傾向に歯止めをかける必要があります。引き続き、子育て支援や食への取組みなどを中心に本市の魅力をもっとPRしながら移住促進し、合わせて、関係人口の創出、東京一極集中の是正、地域経済の活性化に向けて、二地域居住を新しいライフスタイルとする取組みを推進します。